

氏名	大草 孝介 (Kosuke Okusa) 准教授
研究分野	センシングデータ解析
プロフィール	博士(工学). 横浜市立大学データサイエンス学部准教授(2020年より), 中央大学研究開発機構客員准教授(2020年より), 九州大学応用生理人類学研究センター客員研究員(2020年より). 専門はセンシングデータへの機械学習・統計理論の適用とその実社会への応用.

LECTURER PROFILE






模擬授業タイトル: センシングデータとデータサイエンス

「データサイエンス」は実社会への利活用とともに常に語られますが、大学でのデータサイエンス研究がどのように実社会に展開されているのかイメージしにくいことも多いかと思います。今回の模擬講義では、データサイエンスの実社会での応用例の一例である「センシングデータ解析」について紹介します。

PREVIEW!

ドップラーセンサ?

- 高校で(多分)お勉強したであろうドップラー現象の応用(マイクロ波)版センサです(音だけでなく光や電波でも発生します)
- センサの照射範囲内の動きを捉えることが可能
- 距離の端に取り付けただけで心臓の動きも捉えることが出来る優れもの
- どこに機械学習とか統計を使うの? ドップラーセンサは電波の照射範囲内の全ての動きを捉えてしまう
- イメージの中から目的とする現象を検知するには機械学習や統計モデリングが不可欠

東京などによる人と群衆の群衆計測で、スマートフォンが得意なドップラーセンサ

マイコンドップラーセンサ



受験生へのMESSAGE

「データサイエンス」は今回の模擬講義で紹介いたしますセンシングデータだけでなく、医療、製造、小売など様々な現場で活用できる分野です。横浜市立大学データサイエンス学部ではこれらに対応し幅広い分野へ羽ばたけるよう、様々な分野の専門教員を揃えた教育体制を構築しています。興味を持って頂けると嬉しいです。